

事務事業名	ルート日本海太平洋シンポジウム参画事業		所属部局	建設部	単位番号	7045				
	□ 実施計画事業		所属課室	都市計画課	課長名	川崎 成一				
			所属担当	計画担当	担当者名	小宮山 勝己				
基本政策	基本計画体系	Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		11 道路網の整備	事業区分	01	一般	08	04	01	020	15
施策		18 生活関連道路の整備		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 16 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	なし						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	中部日本横断自動車道(静岡・上越間)整備促進のため開催するシンポジウムに女性みちの会員と参加し、意見交換等を行い、早期整備を促進する。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
	開催地については、静岡県、山梨県、長野県、新潟県の輪番により決められており、平成27年度は上越市での開催となりました。			旅費(普通旅費)	23					
				負担金(その他)	35					
						計	58			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 シンポジウムへの参加 負担金の納入 27年度活動予定 シンポジウム(上越市開催)への参加 負担金の納入	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 アイウ ア意見交換会の開催回数 回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	職員・女性みちの会員	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称 単位 アイウ ア意見交換会への参加人数 人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	他県のみちの会のメンバーと意見交換会を行い、中部日本横断自動車道の必要性、重要性を理解し、沿線地域全体で早期完成に向けた意識を高める。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 アイウ ア有益な情報交換・交流が図れたと感じた参加者の割合 %
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	中部日本横断自動車道をはじめ、生活関連道路が整備され、地域の活性化が図れる。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 アイウ ア目的地までの移動時間が短縮されたと感じた住民の割合 %

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	32	1,000	58	428	92	92		
		事業費計(A)	千円	32	1,000	58	428	92	92	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	50	400	74	50	50	50		
		人件費計(B)	千円	228	1,820	337	228	228	228	0	
		(A)+(B)	千円	260	2,820	395	656	320	320	0	
	活動指標	アイウ	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	対象指標	アイウ	人	8.0	22.0	8.0	8.0	8.0	8.0		
	成果指標	アイウ	%	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0		
	上位成果指標	アイウ	%	58.5	58.2	58.2	59.2	60.2	61.2		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	中部日本横断自動車道の早期実現に向けて、機運の醸成と一体感を盛り上げ、併せて沿線地域の振興を図るため、昭和62年に第1回を静岡県清水市で開催し、その後山梨・長野・新潟の4県持回りで開催されている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	中部日本横断自動車道も整備が進み、一部開通されたが、未整備箇所を整備促進を図るため、毎年シンポジウム等を開催して意見交換会や要望活動を行っている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	本市において平成16年に設立された「女性みちの会」も参画し、女性の持つみちづくりの観点を生かして、今後も継続して早期完成を訴えていきたい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	中部日本横断自動車道も一部では完成し供用開始がされており、増穂-清水間も平成29年完成を目指して着々と工事が進んでいる状況から、今後のシンポジウムの方向性について課題があることを、運営委員会へ投げかけてきた。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	運営委員会において、今後のシンポジウムの方向性について協議いただき、毎年シンポジウム開催後に運営委員会において検証を行い、次年度以降のシンポジウム開催について協議することとなった。

事務事業名	ルート日本海太平洋シンポジウム参画事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 女性の持つみちづくりの観点を活かして、意見交換、情報交換を行うことにより、地域の実情に合った事業の促進が図られ、生活関連道路の整備に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 地域の代表として、他県と連携、交流を図り、地域の活性化となるみちづくりの促進に寄与しているので妥当であると考えられるが、実行委員となる商工会や青年会議所にも積極的な参画を促すことも必要である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 中部日本横断自動車道も一部では完成し供用開始がされており、増穂―清水間も平成29年度完成を目指して着々と工事が進んでいる状況から、今後今までのようなシンポジウムを開催していくことが必要なのか検証を行い、目的達成に向け現状に即した形で開催していく必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 これまでのシンポジウムは、職員・女性みちの会・商工会・青年会議所等の限られたメンバーにより開催されてきましたが、より成果を向上させるためにも、沿線地域の多くの皆さんが参加できるような形で開催することが望ましい。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 中部日本横断自動車道整備促進に関わる各種団体と連携を図る中で開催することを検討する。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 他県との連携や意見交換の場が無くなり、沿線の地域活性化に向けた足並みが揃わなくなる。 未だ未着工である長坂―佐久間並びに暫定2車線区間の4車線化等の早期着工に向け訴えていくため、また全線開通後の道路の利用促進、人・物の交流促進を図るため、開催してい
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 今後の参画においても、中部日本横断自動車道参画事業やクローバーネットワーク参画事業と事務内容が類似しているの、女性みちの会運営事業として統合することにより事業費の削減を検討していく。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 今後の参画においても、中部日本横断自動車道参画事業やクローバーネットワーク参画事業と事務内容が類似しているの、女性みちの会運営事業として統合することにより人件費の削減を検討していく。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 広域的な生活関連道路の整備に関する事業であり、市の代表として参画している事業なので、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	中部日本横断自動車道の早期全線開通を目指し、4県の5運営市で構成されたシンポジウムであり、女性みちの会によるクローバーネットワークと同日開催し、要望・陳情活動等を行っている。他事業との統合も検討しながら事業の推進を図っていくことが望ましい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 関係者との緊密な連携																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 特になし	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					